

予算の概要

過去最大!

275億3,364万4千円

問 財政課 財政班 ☎(内線)3292

まちづくりと子育てに注力した 未来へつなげる積極型予算

令和7年度の一般会計予算は154億円(対前年度比6.2%の増)、全会計の予算総額は275億3,364万4千円(対前年度比3.8%の増)で、共に過去最大となりました。
町政70周年のさまざまな記念事業を通じて、町民の皆さんと寄り添いながらジョイフルな年になるよう、2月補正予算と連動した「まちづくりと子育てに注力した未来へつなげる積極型予算」として編成しました。

一般会計

歳入

総額154億円

自主財源 102億4,173万9千円(66.5%)
依存財源 51億5,826万1千円(33.5%)

譲与税・交付金

11億7,850万円
地方譲与税と
地方消費税交付金

町債

6億5,070万円
公共事業の財源とするための
町の借入金

国・県支出金

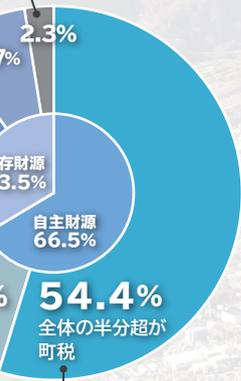
29億7,165万1千円
使い道が特定されている
国や県からの補助金

その他自主財源

18億5,915万3千円
使用料・手数料、諸収入、
基金からの繰入金など

その他依存財源

3億5,741万円



歳出

総額154億円

その他

7億9,570万7千円
議会費、商工費、農林水産業費など

公債費

8億5,574万8千円
借り入れた町債の返済

消防費

10億518万2千円
消防や救急など

衛生費

14億5,258万4千円
健康増進、疾病予防、環境対策、
ごみ処理など

土木費

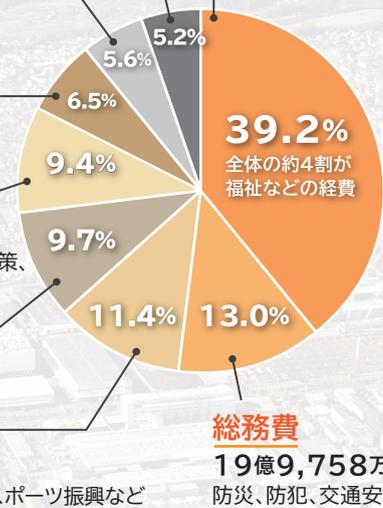
14億9,969万5千円
道路や橋、公園の整備など

教育費

17億5,737万2千円
学校教育、社会教育、文化・スポーツ振興など

民生費

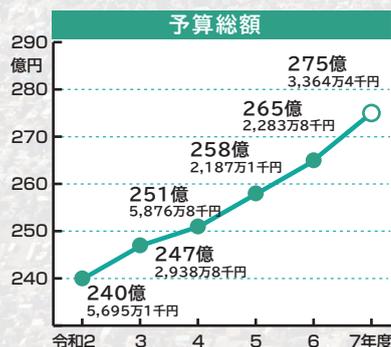
60億3,612万7千円
高齢者、障がい者、
児童の福祉など



総務費

19億9,758万5千円
防災、防犯、交通安全など

過去5年間の当初予算の推移



各会計予算規模

会計名	予算額	構成比	前年度比増減率	
一般会計	154億円	55.9%	6.2%	
特別会計	国民健康保険	45億500万円	16.4%	-1.1%
	後期高齢者医療	7億2,800万円	2.6%	6.0%
	介護保険	37億1,300万円	13.5%	1.1%
	小計	89億4,600万円	32.5%	0.3%
企業会計	公共下水道事業	20億7,364万4千円	7.5%	2.9%
	水道事業	11億1,400万円	4.1%	2.5%
小計	31億8,764万4千円	11.6%	2.7%	
合計	275億3,364万4千円	100.0%	3.8%	

注目事業!

全町民へ! 1人3,000円分の「ええ町やなあ 愛川70周年・地域盛リアゲ振興券」を配布します!

問 商工観光課
商工労政班
☎(内線)3524

4月下旬から順次、世帯主あてに「引換券」を郵送します。

- 対象 4月15日現在、町の住民基本台帳に登録されている方
- 額面 1人当たり3,000円分(500円券×6枚)
※大型・個店共通券2枚、個店専用券4枚
- 引換期間 5月23日(金)～25日(日) 午前9時～午後6時
- 引換場所 児童館や公民館など町内21カ所

※詳しくは同封する案内通知または町ホームページをご確認ください。



町ホームページ
「物価高騰等対策
地域振興券のご案内」



田代「^{やかた やま}館山」桜の名所づくりプロジェクト事業

未来への景観づくりの第一歩として官民連携し桜を植栽します。



未来の館山
(イメージ)

現在の館山

冠事業

4月29日



あいかわ公園つつじまつり

70周年記念プレゼント抽選会を実施するほか、町観光キャラクター「あいちゃん」との写真撮影コーナーも設置します。

8月17日



勤労祭野外フェスティバル

歩行者天国となる内陸工業団地中央街路を会場にカラオケ大会、阿波踊り、サンパカーニバルなどのほか、打ち上げ花火を実施します。

10月25・26日



ふるさとまつり

(健康フェスタ同時開催)

10年に1度!「ふるさとまつり大抽選会」のほか、復興支援として石巻市や能登の物産販売、後夜祭では「町民のど自慢」を開催(26日)します。

11月1日



宮ヶ瀬ダムナイト放流

ライトアップされたダム放流をはじめ、トークショー、愛川町出身フーランメンコダンサーなどのステージイベント、フィナーレには1,500発の打ち上げ花火を実施します。

特別企画

- 中学生への愛川歴史教室
ふるさとへの思いを深め、郷土愛を培うことができるよう、中学1年生を対象に郷土資料館学芸員による愛川歴史教室を開催
- 広報あいかわ特集号
70年の歩み、地域の今昔、町の昔話(物語)などを掲載した特集号を作成
- ええ町70 お楽しみ抽選会
ギフト付き70周年記念レターを全世帯に送り、抽選会を実施
- 小学生と高齢者との交流事業 8月6日(eスポーツ) 9月20日(スカットボール)
eスポーツやスカットボールを通じた世代間交流事業
※eスポーツ交流事業は神奈川工科大学との連携事業
- あいかわ70周年スペシャル給食
学校給食に地場産品を活用したスペシャル給食を実施
- 大阪桐蔭高等学校吹奏楽部演奏会
「大阪桐蔭高等学校吹奏楽部」の記念演奏会を開催
- 下水道マンホールふたデザインコンクール
町政70周年および公共下水道事業開始50周年を記念し、町ホームページ
新たなマンホールふたのデザインを募集します。 「愛川町下水道マンホール
詳しくは町ホームページをご覧ください。 ふたデザインコンクールを
応募期間 5月1日(木)～7月31日(木) 開催します」



民間事業者等との連携事業

- 5月～7月 ●(株)横浜DeNAベイスターズ 3月～12月
試合観戦への招待、グッズの協賛、B-PARKイベントの開催
- 7月 ●神奈川中央養鶏農業協同組合 3月～12月
記念フレーズを印字した卵をオリジナルパッケージにて販売
- 7月～9月 ●(一財)シティサポートよこすか 4月～12月
大矢孝酒造が製造した横須賀市で販売されている日本酒に、町政70周年記念のオリジナルタグ(コースター)を取り付け
- 9月 ●日本郵便(株) 6月～12月
オリジナル小型消印の発行
保育園児への手紙書き方教室の開催
- 11月 ●NHK横浜放送局 10月
NHK全国放送番組の公開収録

健康で ゆとりとふれあいの まちづくり



新 病児保育事業費補助金

病气やけがで通園・通学ができない児童などを一時的に預かる病児保育事業者に対し、運営費を補助します。

- 開設予定地 中津桜台地区
(熊坂外科内科医院隣接)

拡充 子育て応援 リフレッシュ事業

育児ストレスなどを防ぐため、ベビシッターなどに係る費用の一部を助成します。

- 対象 出産後1年以内の子を養育している者
または妊婦

- 助成額 ベビシッターなどに係る費用の2分の1
(上限1万円)
※現行の上限4千円から拡大

新 妊婦・子育て世帯 健康相談事業(10月開始)

24時間いつでもチャット形式で医師に直接相談ができるアプリを導入し、妊婦・子育て世帯の健康不安を軽減します。

- 対象 妊婦、0歳から6歳までの未就学児がいる世帯

新 若年がん患者 在宅療養支援事業

40歳未満の末期がん患者の方が自宅で安心して自分らしい生活ができるよう、在宅療養の費用を助成します。

拡充 帯状疱疹ワクチン接種事業

任意接種を継続するとともに、帯状疱疹ワクチンが予防接種法のB類疾病に位置付けられたことから、定期接種を新たに開始します。
(詳しくは12ページへ)

豊かな人間性を育む 文化のまちづくり



拡充 平和事業

戦後80年を迎え、改めて戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に伝えていきます。

- 開催内容

- 新規 平和を後世に伝える「平和伝承教室」の開催
(対象)小学校6年生

- 新規 平和パネルの作成

広島平和記念資料館から「被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵」の複製原画のデータの提供を受け、パネルを作成

- 平和資料館見学会、平和ポスターコンクールの開催

新 愛川町文化協会・スポーツ協会 創立50周年記念事業

創立50周年を迎える愛川町文化協会および愛川町スポーツ協会の記念事業に補助金を交付します。

- 開催予定 ※会場は、共に文化会館
文化協会 10月25日(土)
スポーツ協会 11月16日(日)

新 文化会館改修工事

- ESCO事業による
空調設備・照明LED化改修など

空調設備の更新と、照明のLED化改修工事などを実施し、省エネルギー化の推進、温室効果ガスの削減を図ります。
※工事に伴い5月～6月は休館

- トイレ改修工事

文化会館1階のトイレを洋式化し、洗浄便座を設置することで、利用環境の改善を図ります。

拡充 学校給食における 物価高騰対策など

食材料費などが高騰する中、給食費の値上げをすることなく、栄養バランスの取れたおいしい給食を提供していきます。



- 新規 物価高騰対策

食材料費の高騰分10%相当を町が負担します。

- 新規 給食費の補助

給食費負担金のうち月額200円を町が引き続き負担します。

- 新規 地産地消の充実(愛川バクバクデー)

地場産食材を取り入れた献立を提供する「愛川バクバクデー」を充実させ、地域の農畜産業などへの理解を深めます。

新規 学校水泳事業の民間委託

試行的に中津第二小学校および菅原小学校の水泳授業の運営を民間業者に委託し、有用性や拡大の可能性などを検証します。

新規 小・中学校 修学旅行費補助金

小・中学生の修学旅行費について、バス代などが高騰していることから、費用の一部を負担し、保護者の負担軽減を図ります。



- 補助額

- 小学生 児童1人当たり5千円
- 中学生 生徒1人当たり1万5千円

新規 中学生への 情報リテラシー教育

● 中学生 e-ネット安全安心教室
町内3中学校の1年生を対象に、安心・安全なICT利活用の推進活動を行うe-ネットキャラバンなどから講師の派遣を受け、さまざまなトラブルから身を守るための正しいインターネットの活用方法を学びます。

- 新規 闇バイト加担防止中学生防犯教室

SNSなどを通じて犯罪の実行役を集める「闇バイト」に巻き込まれるのを防ぐため、町内3中学校の3年生を対象に警察による特別授業を実施します。

拡充 日本語指導 初期集中支援事業

入国したばかりの児童・生徒が学校生活に早く慣れるよう、日本語指導協力者による集中的支援を実施します。

- 言語 ス페인語、ポルトガル語、タガログ語、カンボジア語、中国語など

- 派遣期間 児童・生徒1人につき
4週間程度

※現行の2週間程度から拡大

子どもたちの学びを支える教育環境の充実に取り組んでいます

安全で
安心して暮らせる
まちづくり



新 緊急支援給付金

令和7年2月補正予算

電力・ガス・食料品などの価格高騰に伴い、負担感の大きい住民税非課税世帯へ給付金を支給します(詳しくは5ページへ)。

新 住宅用防犯対策助成金

近年多発している闇バイトなどによる凶悪な強盗事件などを未然に防ぐため、住宅の防犯対策費用の一部を助成します(詳しくは6ページへ)。

新 たすけ愛
外出支援推進事業

「あいちゃんサービスセンター」をはじめとする地域住民の助け合い活動の推進の一環として、担い手養成講座などの外出支援事業を展開します。

新 多言語版
生活ガイドブックの作成

多言語版の生活ガイドブックを発行し、町内の外国籍住民の生活をサポートします。

●対応言語
スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語・英語

新 犯罪被害者等支援条例の
制定の検討

犯罪などにより被害を受けた方やその家族、遺族について、支援が必要となる基本的な事項を定め、施策を総合的に推進することにより、犯罪被害者などを支える地域社会づくりに努めます。

新 防災倉庫および
マンホールトイレなどの整備
(中津工業団地第1号公園)

大規模災害に備え、防災倉庫やマンホールトイレを整備し、かまじベンチを設置します。

産業と交流による
にぎわいのまちづくり



観光・産業連携拠点づくり事業

神奈川トヨタ自動車(株)をパートナー企業として連携しながら具体的な協議を進めていきます。

また、新年度は竹林散策路の整備に向け、既存の竹林整備を行います。



整備が進む半原水源地

新 第1号公園
多目的広場の開設

本年7月の多目的広場開設に合わせ、少年サッカーゴールなどを設置するとともに、オープン記念として、SC相模原によるサッカー教室を開催します。

新 中津地内水道みち
「パバイヤロード」整備事業

第2号公園付近の水道みち中央分離帯に、パバイヤを植栽し、憩いの空間を作ります。

新 桜台小沢線への
「いこいのベンチ」設置

町道桜台小沢線に、歩行者が休憩できるベンチを設置します。

自然と人が共生した
まちづくり



新 生分解性マルチ
購入費補助金

水と二酸化炭素に分解されることで回収・処理が不要となる生分解性マルチの購入費を補助し、農業の省力化と廃プラスチック対策を推進します。

●補助額 購入費用の2分の1(上限2万円)

拡充 空き家対策推進事業

空き家バンク制度の推進

●助成内容 ※いずれも費用の2分の1を助成

●空き家改修(上限30万円)

※現行の空き家片付け、空き家店舗改修費助成を対象として統合するもの

●空き家取得(基本額30万円+最大40万円を加算)

※現行の空き家社宅転用取得費助成を対象として統合するもの

●空き家解体(上限40万円)

※現行の30万円から拡大

空き家バンク登録奨励交付金

空き家バンク登録推進のため、登録物件所有者などに奨励金を交付します。

●助成内容 登録1件当たり5万円

※現行の3万円から拡大

危険空き家等解体費補助金

●補助率 2分の1(上限40万円)

※現行の30万円から拡大

新 有害鳥獣対策
センサーカメラの導入

無線で撮影データを転送できるセンサーカメラを4台導入します。

共に創る
持続可能なまちづくり



拡充 「ごみ処理広域化」の推進と
「ごみ減量化・資源化」の取り組み

本町の可燃(ごみや粗大ごみ)を「ごみ中間処理施設(厚木愛甲環境施設組合)」で広域処理するとともに、紙類やプラスチック製容器包装などの資源化を推進します。

●ごみ処理広域化の推進

●処理施設での可燃ごみ、粗大ごみの処理

●処理施設までの粗大ごみなどの運搬業務委託

●組合の事業運営費、施設建設費への負担

●ごみ減量化・資源化への取り組み

●小型充電式電池のリサイクル活動の推進

●民間事業者と連携した宅配便活用のパソコン回収・リサイクル事業

●民間事業者と連携した不要品リユース事業

●サントリーグループとの協定に基づくペットボトルの水平リサイクル「ボトル・ボトル」の推進

●「愛川キエーロ」などの生ごみ処理器購入への助成

※電動式の生ごみ処理機への助成を開始

(補助率)5分の4(上限1万円)

新 「書かない窓口」の導入

マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類を機器で読み取り、申請書類に氏名や住所などの情報を印字する「書かない窓口」を住民課窓口を導入します。